



2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月10日

上場会社名 株式会社 上組
コード番号 9364 URL <https://www.kamigumi.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 深井 義博

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 財務金融本部長 (氏名) 岸野 保宏

TEL 078-271-5119

定時株主総会開催予定日 2024年6月27日

配当支払開始予定日

2024年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	266,785	2.7	30,592	3.1	34,185	2.5	25,035	1.7
2023年3月期	274,139	4.8	31,580	10.7	35,064	13.6	24,620	18.0

(注) 包括利益 2024年3月期 36,252百万円 (33.9%) 2023年3月期 27,064百万円 (7.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	営業収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	232.97		6.6	7.3	11.5
2023年3月期	220.69		6.7	7.9	11.5

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 1,216百万円 2023年3月期 1,269百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	483,921	387,290	79.7	3,622.81
2023年3月期	456,038	373,005	81.4	3,372.82

(参考) 自己資本 2024年3月期 385,666百万円 2023年3月期 371,244百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	42,471	16,423	12,216	80,098
2023年3月期	35,564	13,720	2,224	66,147

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		40.00		50.00	90.00	9,925	40.8	2.7
2024年3月期		45.00		55.00	100.00	10,654	42.9	2.9
2025年3月期(予想)		50.00		50.00	100.00		43.5	

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	135,000	0.4	14,900	3.5	16,100	7.7	12,000	4.9	112.72
通期	271,000	1.6	30,000	1.9	32,700	4.3	24,500	2.1	230.14

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	112,076,837 株	2023年3月期	116,376,837 株
期末自己株式数	2024年3月期	5,621,632 株	2023年3月期	6,307,262 株
期中平均株式数	2024年3月期	107,460,380 株	2023年3月期	111,559,702 株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	238,137	2.9	29,012	3.1	32,917	1.8	24,591	3.5
2023年3月期	245,356	3.2	29,930	9.6	33,507	10.3	23,751	13.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	228.84	
2023年3月期	212.90	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2024年3月期	466,102		373,704		80.2	3,510.44		
2023年3月期	440,421		362,642		82.3	3,294.67		

(参考) 自己資本 2024年3月期 373,704百万円 2023年3月期 362,642百万円

2. 2025年3月期の個別業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	121,000	1.0	15,500	6.3	11,600	3.5	108.97	
通期	243,000	2.0	31,600	4.0	24,000	2.4	225.45	

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については添付書類P.4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	12
(連結貸借対照表関係)	15
(連結損益計算書関係)	16
(連結包括利益計算書関係)	17
(連結株主資本等変動計算書関係)	18
(連結キャッシュ・フロー計算書関係)	19
(セグメント情報等)	20
(1株当たり情報)	22
(重要な後発事象)	22
4. 個別財務諸表	23
(1) 貸借対照表	23
(2) 損益計算書	25
(3) 株主資本等変動計算書	26

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかに回復しているものの、中国経済の先行き懸念や世界的な金融引締めなどにより景気の先行きは不透明な状況となっております。

物流業界におきましても、輸出貨物の取扱いは全体として持ち直しの動きがみられるものの、輸入貨物は横ばいとなっていることに加え、人手不足や燃料費が高騰するなど経営環境は厳しい状況が継続しております。

このような状況下にあつて当社グループは、中期経営計画の目標達成に向け、大阪市南港地区における定温倉庫の建替えを行うなど物流インフラを支える企業としてサービスの提供を行ってまいりました。

この結果、当連結会計年度における営業収益は、バイオマス発電所向け燃料輸送が本格稼働し収益に寄与したものの、前期のスポット海上輸送案件の反動減を補うには至らず、2.7%減収の2,667億85百万円となりました。利益面におきましても、営業利益は前年同期と比べて3.1%減益の305億92百万円、経常利益は2.5%減益の341億85百万円となりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は投資有価証券売却益の計上により1.7%増益の250億35百万円となりました。

セグメント別の事業の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメント	営業収益			
	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額	前年同期比
物流事業	243,322	231,448	△11,874	△4.9%
港湾運送	128,597	124,496	△4,101	△3.2%
倉庫	37,220	37,493	273	0.7%
国内運送	29,951	29,728	△223	△0.7%
工場荷役請負	28,025	27,915	△110	△0.4%
国際運送	18,084	10,434	△7,649	△42.3%
その他	1,280	1,244	△36	△2.8%
セグメント間取引	160	134	△26	△16.4%
その他事業	33,240	37,699	4,458	13.4%
重量・建設	9,924	12,491	2,567	25.9%
その他	21,054	22,980	1,926	9.1%
セグメント間取引	2,261	2,226	△34	△1.5%
セグメント間取引消去額	△2,422	△2,361	61	—
合 計	274,139	266,785	△7,354	△2.7%

[物流事業]

港湾運送におきましては、バイオマス発電所向け燃料輸送、および国内発電設備等のプロジェクト貨物の輸入取扱いが収益に寄与したものの、前期スポット海上輸送案件の反動減を補うには至らず、また国際運送におきましても海上運賃の下落および発電設備等のプロジェクト貨物の輸取出扱いが減少となったため減収となりました。

この結果、物流事業の営業収益は前年同期に比べて4.9%減収の2,314億48百万円、セグメント利益は6.1%減益の264億43百万円となりました。

[その他事業]

重量・建設におきましては、風力発電設備等の運搬据付作業が増加となりました。その他におきましては、天候不良により太陽光発電の発電量が減少となりましたが、新車整備の取扱量が増加し、燃料および鋼材の物品販売も増加となりました。

この結果、その他事業の営業収益は前年同期に比べて13.4%増収の376億99百万円となり、セグメント利益は21.9%増益の41億29百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、「現金及び預金」及び「投資有価証券」が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて278億82百万円増加の4,839億21百万円となりました。

(負債)

当連結会計年度末における負債は、「支払手形及び営業未払金」および人事制度変更により「退職給付に係る負債」が減少したものの、新たに長期借入を行ったことなどにより、前連結会計年度末に比べて135億96百万円増加の966億30百万円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、配当や自己株式の取得で減少したものの、親会社株主に帰属する当期純利益の計上及び「その他有価証券評価差額金」が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて142億85百万円増加の3,872億90百万円となりました。

この結果、自己資本比率は79.7%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は税金等調整前当期純利益353億57百万円、減価償却費136億51百万円、法人税等の支払額106億7百万円などにより、424億71百万円の純収入となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は固定資産の取得による支出61億44百万円、投資有価証券の取得による支出102億46百万円などにより、164億23百万円の純支出となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は長期借入れによる収入100億円、配当金の支払額103億2百万円、自己株式の取得による支出117億円などにより、122億16百万円の純支出となりました。

(キャッシュ・フロー関連指標の推移)

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	83.9	84.3	84.2	81.4	79.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	53.8	58.6	58.0	67.1	73.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	—	0.6	0.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	1,651.5	900.4

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の世界経済は、欧米中央銀行による金融引締め政策に終結の目途が立ちつつあり、経済活動の活発化が期待できる一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東諸国における紛争、および欧米諸国と中国の緊張状態の継続といった地政学的リスクに引き続き警戒を要するなど、先行き不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く状況におきましても、歴史的な円安等によるコスト上昇が企業活動の負担となっていることに加え、人口減少社会を見据えた事業活動への備えなど、経営環境は依然として多くの課題を抱え、長期的な変化を見据えた経営戦略が求められています。

このような環境の中、電力・燃料費の高騰に加えて人件費や外注費の上昇などにより、2025年3月期の連結業績目標は、営業収益2,710億円、営業利益300億円、経常利益327億円、親会社株式に帰属する当期純利益245億円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	65,680	79,631
受取手形、営業未収入金及び契約資産	48,371	※5 48,073
電子記録債権	1,004	※5 861
有価証券	10,600	10,800
棚卸資産	※6 816	※6 893
その他	6,173	2,897
貸倒引当金	△58	△54
流動資産合計	132,587	143,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	※1 106,864	※1 104,133
機械装置及び運搬具（純額）	※1 18,444	※1 17,761
土地	100,227	100,230
建設仮勘定	2,244	53
その他（純額）	※1 1,955	※1 1,799
有形固定資産合計	229,737	223,978
無形固定資産	6,586	6,774
投資その他の資産		
投資有価証券	※2 78,441	※2 102,129
長期貸付金	93	13
繰延税金資産	1,610	223
その他	※2 7,299	※2 8,015
貸倒引当金	△317	△315
投資その他の資産合計	87,126	110,066
固定資産合計	323,451	340,819
資産合計	456,038	483,921

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	25,831	※5 24,718
未払法人税等	5,760	5,731
賞与引当金	180	178
その他	11,133	14,327
流動負債合計	42,906	44,957
固定負債		
長期借入金	20,000	30,000
繰延税金負債	542	3,685
役員退職慰労引当金	75	89
船舶特別修繕引当金	27	—
退職給付に係る負債	18,312	17,059
関係会社事業損失引当金	267	267
その他	901	570
固定負債合計	40,127	51,672
負債合計	83,033	96,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,642	31,642
資本剰余金	26,854	26,854
利益剰余金	313,851	317,355
自己株式	△14,292	△14,697
株主資本合計	358,055	361,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,146	21,717
為替換算調整勘定	724	989
退職給付に係る調整累計額	318	1,806
その他の包括利益累計額合計	13,189	24,513
非支配株主持分	1,760	1,624
純資産合計	373,005	387,290
負債純資産合計	456,038	483,921

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業収益	274,139	266,785
営業原価	222,787	215,773
営業総利益	51,352	51,011
販売費及び一般管理費	※1 19,771	※1 20,419
営業利益	31,580	30,592
営業外収益		
受取利息	24	37
受取配当金	1,671	1,700
為替差益	79	112
持分法による投資利益	1,269	1,216
その他	518	622
営業外収益合計	3,564	3,689
営業外費用		
支払利息	18	43
その他	61	53
営業外費用合計	80	96
経常利益	35,064	34,185
特別利益		
固定資産売却益	※2 57	※2 32
投資有価証券売却益	256	1,148
ゴルフ会員権売却益	—	8
補助金収入	181	424
特別利益合計	494	1,613
特別損失		
固定資産除売却損	※3 376	※3 440
関係会社株式評価損	224	—
ゴルフ会員権売却損	—	1
特別損失合計	600	441
税金等調整前当期純利益	34,958	35,357
法人税、住民税及び事業税	10,420	10,575
法人税等調整額	△84	△131
法人税等合計	10,335	10,444
当期純利益	24,623	24,913
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	3	△122
親会社株主に帰属する当期純利益	24,620	25,035

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	24,623	24,913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,543	9,348
為替換算調整勘定	269	167
退職給付に係る調整額	592	1,353
持分法適用会社に対する持分相当額	35	469
その他の包括利益合計	※ 2,441	※ 11,339
包括利益	27,064	36,252
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	27,058	36,358
非支配株主に係る包括利益	5	△106

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	31,642	26,854	321,928	△25,034	355,390
当期変動額					
剰余金の配当			△9,696		△9,696
親会社株主に帰属する当期純利益			24,620		24,620
自己株式の取得				△12,300	△12,300
自己株式の処分		6		36	43
自己株式の消却		△6	△22,999	23,006	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△8,076	10,742	2,665
当期末残高	31,642	26,854	313,851	△14,292	358,055

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	10,708	336	△294	10,750	1,776	367,917
当期変動額						
剰余金の配当						△9,696
親会社株主に帰属する当期純利益						24,620
自己株式の取得						△12,300
自己株式の処分						43
自己株式の消却						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,438	387	613	2,438	△16	2,421
当期変動額合計	1,438	387	613	2,438	△16	5,087
当期末残高	12,146	724	318	13,189	1,760	373,005

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	31,642	26,854	313,851	△14,292	358,055
当期変動額					
剰余金の配当			△10,302		△10,302
親会社株主に帰属する当期純利益			25,035		25,035
自己株式の取得				△11,700	△11,700
自己株式の処分		12		52	65
自己株式の消却		△12	△11,229	11,242	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	3,503	△405	3,098
当期末残高	31,642	26,854	317,355	△14,697	361,153

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	12,146	724	318	13,189	1,760	373,005
当期変動額						
剰余金の配当						△10,302
親会社株主に帰属する当期純利益						25,035
自己株式の取得						△11,700
自己株式の処分						65
自己株式の消却						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	9,570	265	1,487	11,323	△136	11,187
当期変動額合計	9,570	265	1,487	11,323	△136	14,285
当期末残高	21,717	989	1,806	24,513	1,624	387,290

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	34,958	35,357
減価償却費	13,589	13,651
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	△5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	579	697
受取利息及び受取配当金	△1,696	△1,737
支払利息	18	43
持分法による投資損益 (△は益)	△1,269	△1,216
投資有価証券売却損益 (△は益)	△256	△1,148
関係会社株式評価損	224	—
固定資産除売却損益 (△は益)	319	408
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	—	△7
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,436	318
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△51	△76
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,360	△1,151
営業貸付金の増減額 (△は増加)	105	2,729
その他	△599	1,841
小計	43,128	49,702
利息及び配当金の受取額	2,935	3,422
利息の支払額	△21	△47
法人税等の支払額	△10,477	△10,607
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,564	42,471
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△500	△400
有価証券の取得による支出	△30,000	△30,000
有価証券の売却による収入	30,000	30,000
有価証券の償還による収入	—	100
固定資産の取得による支出	△11,680	△6,144
固定資産の売却による収入	80	59
固定資産の除却による支出	△372	△435
投資有価証券の取得による支出	△2,427	△10,246
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,215	2,630
関係会社出資金の払込による支出	—	△325
関係会社株式の取得による支出	—	△1,755
差入保証金の差入による支出	△196	△19
その他	161	115
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,720	△16,423
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	20,000	10,000
配当金の支払額	△9,696	△10,302
自己株式の取得による支出	△12,300	△11,700
その他	△226	△213
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,224	△12,216
現金及び現金同等物に係る換算差額	163	119
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	19,783	13,950
現金及び現金同等物の期首残高	46,364	66,147
現金及び現金同等物の期末残高	※ 66,147	※ 80,098

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 12社

上組陸運(株)
上組海運(株)
上組航空サービス(株)
泉産業(株)
(株)カミックス
大分港運(株)
岩川醸造(株)
エムビー・サービス日本(株)
日本ポート産業(株)
上組(香港)有限公司
上組国際貨運代理(上海)有限公司
KAMIGUMI GLOBAL SOLUTIONS MALAYSIA SDN. BHD.

(2) 主要な非連結子会社の名称等

主要な非連結子会社の名称

上津運輸(株)

(連結の範囲から除いた理由)

非連結子会社は、いずれも小規模であり、合計の総資産、営業収益、当期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等は、いずれも連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないためであります。

2. 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法適用の非連結子会社数 1社

会社名

上津運輸(株)

(2) 持分法適用の関連会社数 4社

会社名

EASTERN SEA LAEM CHABANG TERMINAL CO., LTD.
上海上組物流有限公司
豊通上組物流(常熟)有限公司
K L K G ホールディングス(株)

K L K G ホールディングス(株)の子会社4社に対する投資について持分法を適用して認識した損益が連結財務諸表に与える影響が大きいため、当該4社の損益をK L K G ホールディングス(株)の損益に含めて計算しており、持分法適用関連会社数はK L K G ホールディングスグループ全体を1社として表示しております。

(3) 持分法を適用しない非連結子会社(KAMIGUMI SINGAPORE PTE. LTD. 他)及び関連会社(株)神戸港国際流通センター(他)は、当期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等からみて、持分法の対象から除いても連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため、持分法の適用範囲から除外しております。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

エムビー・サービス日本(株)及び日本ポート産業(株)を除く国内連結子会社の事業年度の末日は、連結決算日と一致しております。

日本ポート産業(株)の事業年度の末日は、2月末日であります。

エムビー・サービス日本(株)及び在外連結子会社の事業年度の末日は、12月31日であります。

連結財務諸表の作成にあたっては、同決算日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

4. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

イ 有価証券

(イ) 満期保有目的の債券

償却原価法

(ロ) その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は主として移動平均法により算定）

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法

ロ 棚卸資産

(イ) 商品・製品・原材料

主として先入先出法及び総平均法

(ロ) 仕掛品

総平均法による原価法

(ハ) 貯蔵品

主として最終仕入原価法

なお、貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定しております。

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

イ 有形固定資産（リース資産を除く）

当社は、建物（建物附属設備を除く）は定額法、建物以外については不動産賃貸事業用資産は定額法、それ以外は主として定率法によっております。国内連結子会社は、建物（建物附属設備を除く）は主として定額法、建物以外は定率法によっております。

ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。

在外連結子会社は、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び構築物 8～50年

機械装置及び運搬具 2～17年

ロ 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

ハ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

(3) 重要な引当金の計上基準

イ 貸倒引当金

一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

ロ 賞与引当金

連結子会社は従業員の賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

ハ 役員退職慰労引当金

国内連結子会社は役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

ニ 船舶特別修繕引当金

船舶安全法の規定による定期検査を受けるための修繕費支出に備えるため、将来の定期検査費用見積額に基づき計上しております。

ホ 関係会社事業損失引当金

関係会社に係る損失に備えるため、関係会社の財政状態並びに将来の回復見込み等を勘案し、必要額を見積計上しております。

(4) 退職給付に係る会計処理の方法

① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当連結会計年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

② 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用については、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理しております。

数理計算上の差異については、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の際連結会計年度から費用処理しております。

(5) 重要な収益及び費用の計上基準

当社及び連結子会社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

① 港湾運送事業、貨物自動車運送事業、倉庫工場荷役請負業、国際運送取扱事業

当社グループの主な事業内容は、港湾荷役、コンテナターミナル運営、上屋保管等を行う港湾運送事業、貨物自動車運送及び貨物自動車運送の委託、取次ぎを行う貨物自動車運送事業、工場・倉庫などの構内での運搬・輸送を行う倉庫工場荷役請負業、並びに国際複合一貫輸送などの国際輸送業及び海外における輸送であり、主に顧客との請負契約に基づき当該業務を行う義務を負っております。

当該業務については、原則として各種の役務の提供により履行義務が充足されることから、当該履行義務を充足した時点で収益を認識しておりますが、国際海上運送等一定の期間にわたり充足される履行義務については、期間がごく短い運送業務を除き、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識することとしております。履行義務の充足に係る進捗度の見積りの方法は、見積総運送日数に対する経過日数の割合（アウトプット法）によって算出しております。なお、履行義務の充足に係る進捗率の合理的な見積りが出来ない運送業務で当該履行義務を充足する際に発生する費用を回収することが見込まれるものについては、原価回収基準を適用しております。

② 倉庫業

当社グループの主な事業内容は、貨物の保管及び保管貨物の入出庫作業であり、顧客との寄託契約に基づき当該業務を行う義務を負っております。

貨物の保管業務については、一定期間にわたり履行義務が充足されることから、期間の経過に伴い収益を認識しております。また、保管貨物の入出庫業務については、個々の役務の提供により履行義務が充足されることから、当該履行義務を充足した時点で収益を認識しております。

③ 重量建設機工事業

当社グループの主な事業内容は、重量貨物、大型貨物の輸送、工場・倉庫などの設計・施工から解体撤去、各種産業設備・機器の製作据付や運搬に伴う据付工事を主な事業内容としており、顧客との請負契約に基づき当該業務を行う義務を負っております。

請負工事契約に関して、一定の期間にわたり充足される履行義務は、期間がごく短い工事を除き、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識し、一時点で充足される履行義務は、工事完了時に収益を認識することとしております。履行義務の充足に係る進捗度の見積りの方法は、見積総原価に対する発生原価の割合（インプット法）で算出しております。なお、履行義務の充足に係る進捗率の合理的な見積りが出来ない工事で当該履行義務を充足する際に発生する費用を回収することが見込まれるものについては、原価回収基準を適用しております。

当社グループが代理人として役務の提供に関与している場合には、純額で収益を認識しております。また、収益は顧客との契約において約束された対価から、顧客に支払われる対価を控除した金額で測定しております。

なお、履行義務に対する対価は、履行義務充足後、別途定める支払条件により概ね1年以内に受領しており、重大な金融要素は含んでおりません。

(6) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外連結子会社の資産及び負債は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定に含めて計上しております。

(7) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(連結貸借対照表関係)

※1 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
	295,790百万円	306,225百万円

※2 非連結子会社及び関連会社に対するものは、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
投資有価証券(株式)	44,255百万円	46,077百万円
投資その他の資産「その他」(出資金)	1,001百万円	1,406百万円

3 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入金に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
神戸メガコンテナターミナル(株)	1,000百万円	855百万円
夢洲コンテナターミナル(株)	544百万円	463百万円
飛島コンテナ埠頭(株)	373百万円	296百万円
(株)サニープレイスファーム	8百万円	5百万円
計	1,927百万円	1,620百万円

スタンバイ信用状に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
(株)三井住友銀行	133百万円	—

4 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
受取手形裏書譲渡高	288百万円	9百万円

※5 連結会計年度末日満期手形等

連結会計年度末日満期手形等の会計処理については、手形交換日等をもって決済処理をしております。なお、当連結会計年度の末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形等が連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
受取手形	—	58百万円
電子記録債権	—	37百万円
支払手形	—	265百万円

※6 棚卸資産の内訳は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
商品及び製品	131百万円	127百万円
仕掛品	398百万円	460百万円
原材料及び貯蔵品	286百万円	304百万円

(連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
給料手当	10,999百万円	11,796百万円
退職給付費用	696百万円	597百万円
役員退職慰労引当金繰入額	11百万円	14百万円
賞与引当金繰入額	50百万円	77百万円
貸倒引当金繰入額	3百万円	△5百万円

※2 固定資産売却益の内容は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
建物及び構築物	0百万円	4百万円
機械装置及び運搬具	49百万円	25百万円
土地	5百万円	—
有形固定資産「その他」	2百万円	2百万円
計	57百万円	32百万円

※3 固定資産除売却損の内容は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
建物等取壊し撤去費用	372百万円	435百万円
建物及び構築物	2百万円	2百万円
機械装置及び運搬具	0百万円	1百万円
有形固定資産「その他」	0百万円	0百万円
無形固定資産	0百万円	0百万円
計	376百万円	440百万円

(連結包括利益計算書関係)

※ その他の包括利益に係る組替調整額及び税効果額

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
その他有価証券評価差額金：		
当期発生額	2,405百万円	14,498百万円
組替調整額	△250百万円	△1,088百万円
税効果調整前	2,154百万円	13,410百万円
税効果額	△611百万円	△4,061百万円
その他有価証券評価差額金	1,543百万円	9,348百万円
為替換算調整勘定：		
当期発生額	269百万円	167百万円
退職給付に係る調整額：		
当期発生額	653百万円	1,965百万円
組替調整額	199百万円	△15百万円
税効果調整前	852百万円	1,949百万円
税効果額	△260百万円	△596百万円
退職給付に係る調整額	592百万円	1,353百万円
持分法適用会社に対する持分相当額：		
当期発生額	96百万円	493百万円
組替調整額	△61百万円	△23百万円
税効果調整前	35百万円	469百万円
税効果額	—	—
持分法適用会社に対する持分相当額	35百万円	469百万円
その他の包括利益合計	2,441百万円	11,339百万円

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当連結会計年度期 首株式数(千株)	当連結会計年度増 加株式数(千株)	当連結会計年度減 少株式数(千株)	当連結会計年度末 株式数(千株)
発行済株式				
普通株式(注)1.	127,496	—	11,120	116,376
合計	127,496	—	11,120	116,376
自己株式				
普通株式(注)2.3.	12,828	4,617	11,138	6,307
合計	12,828	4,617	11,138	6,307

- (注) 1. 普通株式の発行済株式の総数の減少11,120千株は、取締役会決議に基づく自己株式の消却11,120千株であります。
2. 普通株式の自己株式の株式数の増加4,617千株は、取締役会決議による自己株式の取得による増加4,617千株、単元未満株式の買取りによる増加0千株であります。
3. 普通株式の自己株式の株式数の減少11,138千株は、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分18千株、取締役会決議に基づく自己株式の消却11,120千株であります。

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配当 額(円)	基準日	効力発生日
2022年6月29日 定時株主総会	普通株式	5,274	46	2022年3月31日	2022年6月30日
2022年11月11日 取締役会	普通株式	4,422	40	2022年9月30日	2022年12月6日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	配当の原資	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2023年6月29日 定時株主総会	普通株式	5,503	利益剰余金	50	2023年3月31日	2023年6月30日

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当連結会計年度期首株式数(千株)	当連結会計年度増加株式数(千株)	当連結会計年度減少株式数(千株)	当連結会計年度末株式数(千株)
発行済株式				
普通株式(注)1.	116,376	—	4,300	112,076
合計	116,376	—	4,300	112,076
自己株式				
普通株式(注)2.3.	6,307	3,637	4,322	5,621
合計	6,307	3,637	4,322	5,621

- (注) 1. 普通株式の発行済株式の総数の減少4,300千株は、取締役会決議に基づく自己株式の消却4,300千株であります。
2. 普通株式の自己株式の株式数の増加3,637千株は、取締役会決議による自己株式の取得による増加3,637千株、譲渡制限付株式報酬制度の権利失効による無償取得0千株、単元未満株式の買取りによる増加0千株であります。
3. 普通株式の自己株式の株式数の減少4,322千株は、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分22千株、取締役会決議に基づく自己株式の消却4,300千株であります。

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額(百万円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2023年6月29日 定時株主総会	普通株式	5,503	50	2023年3月31日	2023年6月30日
2023年11月10日 取締役会	普通株式	4,799	45	2023年9月30日	2023年12月5日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額(百万円)	配当の原資	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2024年6月27日 定時株主総会	普通株式	5,855	利益剰余金	55	2024年3月31日	2024年6月28日

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
現金及び預金勘定	65,680百万円	79,631百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△33百万円	△33百万円
有価証券勘定に含まれる合同運用指定金銭信託	500百万円	500百万円
現金及び現金同等物	66,147百万円	80,098百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、物流サービス事業を中核として各種の事業を行っており、提供する物流サービスについては「物流事業」、その他複数の事業を「その他事業」とする2つのセグメントを報告セグメントとしております。

「物流事業」は、主に港湾運送業、倉庫業、自動車運送業及び国際輸送業を行っており、「その他事業」は重量貨物運搬据付業、建設業及び不動産賃貸業などを行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表計上額 (注) 2
	物流事業	その他事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	243,161	30,978	274,139	—	274,139
セグメント間の内部営業収益又は振替高	160	2,261	2,422	△2,422	—
計	243,322	33,240	276,562	△2,422	274,139
セグメント利益	28,174	3,388	31,562	18	31,580
セグメント資産	255,640	53,586	309,227	146,811	456,038
その他の項目					
減価償却費	11,190	2,399	13,589	—	13,589
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	15,848	1,110	16,959	—	16,959

(注) 1 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額18百万円は、連結消去に係る決算調整額であります。

(2)セグメント資産の調整額146,811百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表計上額 (注) 2
	物流事業	その他事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	231,313	35,472	266,785	—	266,785
セグメント間の内部営業収益又は振替高	134	2,226	2,361	△2,361	—
計	231,448	37,699	269,147	△2,361	266,785
セグメント利益	26,443	4,129	30,573	19	30,592
セグメント資産	252,392	47,937	300,330	183,590	483,921
その他の項目					
減価償却費	11,271	2,380	13,651	—	13,651
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	9,588	479	10,068	—	10,068

(注) 1 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額19百万円は、連結消去に係る決算調整額であります。

(2)セグメント資産の調整額183,590百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が連結損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の営業収益の10%以上を占める特定の外部顧客への営業収益がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が連結損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の営業収益の10%以上を占める特定の外部顧客への営業収益がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	3,372円82銭	3,622円81銭
1株当たり当期純利益	220円69銭	232円97銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	24,620	25,035
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益(百万円)	24,620	25,035
普通株式の期中平均株式数(千株)	111,559	107,460

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,123	71,284
受取手形	210	367
電子記録債権	977	833
営業未収入金及び契約資産	43,312	43,223
有価証券	10,600	10,800
貯蔵品	160	150
短期貸付金	4,130	1,323
その他	1,765	1,456
貸倒引当金	△49	△46
流動資産合計	119,230	129,394
固定資産		
有形固定資産		
建物	87,986	86,406
構築物	8,236	7,520
機械及び装置	14,431	14,412
車両運搬具等	1,907	1,535
工具、器具及び備品	1,414	1,224
土地	97,874	97,877
建設仮勘定	2,151	53
有形固定資産合計	214,002	209,031
無形固定資産		
借地権	6,172	6,172
その他	368	481
無形固定資産合計	6,540	6,653
投資その他の資産		
投資有価証券	31,690	52,179
関係会社株式	50,316	51,808
関係会社出資金	703	1,028
長期貸付金	10,792	10,108
差入保証金	3,697	3,610
繰延税金資産	1,543	—
その他	2,233	2,612
貸倒引当金	△328	△325
投資その他の資産合計	100,648	121,023
固定資産合計	321,191	336,708
資産合計	440,421	466,102

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	21,645	21,381
未払金	4,479	6,277
未払費用	4,117	4,561
未払法人税等	5,437	5,446
その他	3,075	3,348
流動負債合計	38,756	41,015
固定負債		
長期借入金	20,000	30,000
退職給付引当金	18,031	18,725
関係会社事業損失引当金	267	267
その他	724	2,390
固定負債合計	39,023	51,383
負債合計	77,779	92,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,642	31,642
資本剰余金		
資本準備金	26,854	26,854
資本剰余金合計	26,854	26,854
利益剰余金		
利益準備金	5,978	5,978
その他利益剰余金		
退職給与積立金	800	800
配当準備積立金	1,138	1,138
固定資産圧縮積立金	2,301	2,456
別途積立金	276,000	276,000
繰越利益剰余金	21,581	24,484
利益剰余金合計	307,798	310,857
自己株式	△14,292	△14,697
株主資本合計	352,002	354,656
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,640	19,048
評価・換算差額等合計	10,640	19,048
純資産合計	362,642	373,704
負債純資産合計	440,421	466,102

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業収益	245,356	238,137
営業原価	197,972	191,144
営業総利益	47,384	46,992
販売費及び一般管理費	17,453	17,980
営業利益	29,930	29,012
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,152	3,349
その他	511	641
営業外収益合計	3,664	3,991
営業外費用		
支払利息	18	43
その他	69	42
営業外費用合計	87	85
経常利益	33,507	32,917
特別利益		
固定資産売却益	45	20
投資有価証券売却益	250	1,148
ゴルフ会員権売却益	—	8
補助金収入	181	424
特別利益合計	477	1,601
特別損失		
固定資産除売却損	373	62
ゴルフ会員権売却損	—	1
関係会社株式評価損	75	—
特別損失合計	449	63
税引前当期純利益	33,535	34,455
法人税、住民税及び事業税	9,896	10,037
法人税等調整額	△112	△172
法人税等合計	9,784	9,864
当期純利益	23,751	24,591

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金				
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		その他利益剰余金				
					退職給与積立金	配当準備積立金	固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	31,642	26,854	—	26,854	5,978	800	1,138	2,284	276,000	30,544
当期変動額										
固定資産圧縮積立金の積立								125		△125
固定資産圧縮積立金の取崩								△108		108
別途積立金の積立										—
剰余金の配当										△9,696
当期純利益										23,751
自己株式の取得										
自己株式の処分			6	6						
自己株式の消却			△6	△6						△22,999
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	—	16	—	△8,962
当期末残高	31,642	26,854	—	26,854	5,978	800	1,138	2,301	276,000	21,581

	株主資本			評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
	利益剰余金合計					
当期首残高	316,744	△25,034	350,205	9,222	9,222	359,428
当期変動額						
固定資産圧縮積立金の積立	—		—			—
固定資産圧縮積立金の取崩	—		—			—
別途積立金の積立	—		—			—
剰余金の配当	△9,696		△9,696			△9,696
当期純利益	23,751		23,751			23,751
自己株式の取得		△12,300	△12,300			△12,300
自己株式の処分		36	43			43
自己株式の消却	△22,999	23,006	—			—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)				1,417	1,417	1,417
当期変動額合計	△8,945	10,742	1,796	1,417	1,417	3,214
当期末残高	307,798	△14,292	352,002	10,640	10,640	362,642

当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金					
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金				
						退職給与積立金	配当準備積立金	固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金
当期首残高	31,642	26,854	—	26,854	5,978	800	1,138	2,301	276,000	21,581
当期変動額										
固定資産圧縮積立金の積立								294		△294
固定資産圧縮積立金の取崩								△138		138
別途積立金の積立										—
剰余金の配当										△10,302
当期純利益										24,591
自己株式の取得										
自己株式の処分			12	12						
自己株式の消却			△12	△12						△11,229
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	—	155	—	2,903
当期末残高	31,642	26,854	—	26,854	5,978	800	1,138	2,456	276,000	24,484

	株主資本			評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
	利益剰余金合計					
当期首残高	307,798	△14,292	352,002	10,640	10,640	362,642
当期変動額						
固定資産圧縮積立金の積立	—		—			—
固定資産圧縮積立金の取崩	—		—			—
別途積立金の積立	—		—			—
剰余金の配当	△10,302		△10,302			△10,302
当期純利益	24,591		24,591			24,591
自己株式の取得		△11,700	△11,700			△11,700
自己株式の処分		52	65			65
自己株式の消却	△11,229	11,242	—			—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)				8,408	8,408	8,408
当期変動額合計	3,059	△405	2,654	8,408	8,408	11,062
当期末残高	310,857	△14,697	354,656	19,048	19,048	373,704